

## 『土日完全週休2日制試行工事』アンケート

建設業界では、若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題となっており、建設現場における労働環境の改善が求められています。

このため、土曜日及び日曜日を休日とする取組を試行的に行うことにより、工期設定の検証や週休2日の普及に向けた効果、課題を把握したいと考えています。

つきましては、受注者（下請負者を含む）の方を対象としたアンケートにご協力をお願いします。

《元請負者の主任（監理）技術者、現場代理人、技能労働者、作業員並びに下請業者の主任技術者、現場代理人、技能労働者、作業員に回答をお願いします。》

Q1 工事名

Q2 所属会社名

Q3 所属会社の元請け・下請けの別

- 元請
- 一次下請
- 二次以降下請

Q4 技術者等の区分

- 監理技術者
- 主任技術者
- 現場代理人
- 技能労働者
- 作業員

Q5 ご年齢

 歳

Q6 どのような給与体系ですか？

- 月給
- 日給月給
- 日給
- その他

(その他の内容をご記入ください)

Q7 所属会社の休日は次のいずれに該当しますか？

- 4週8休
- 4週6休
- 4週4休
- その他

(その他の内容をご記入ください)

Q8 現場に勤務した作業期間（工期ではありません）

年 月 日 から  
年 月 日 まで

Q9 Q8のうち、実際に休めた土日の日数

日

Q10 Q8のうち、実際に休めた平日の日数

日

Q11 試行工事では、土日に現場を休工とすることができましたか？

- 土日は現場を休工できなかった →Q12へ
- 土日は現場をすべて休工できた →Q13へ

Q12 土日に現場を休工できなかった理由をお選び下さい。

(複数回答可)

- 地元対応が必要となったため
- 他工事との工程調整が必要となったため
- 悪天候等による災害等が発生し、その対応が必要となったため
- 工法等の変更が生じ、その検討・対応が必要となったため
- 給料に影響するため
- その他

(その他の内容をご記入ください)

Q13 試行工事期間中の土日は、実際に会社を休むことができましたか？

- 土日は会社をすべて休めた →Q14へ
- 土日は会社を休めなかった →Q15へ

Q14 試行工事期間中、現場だけでなく、土日会社に休めた理由をご記入ください。

- 会社が週休2日であるため
- 試行工事であること理由に、特別休暇等の会社の配慮があったため
- 独自に有給休暇を取得したため
- その他

(その他の内容をご記入ください)

Q15 試行工事期間中、現場は休工できたが、土日会社に休めなかった理由をご記入ください。

- 悪天候による第三者被害防止のための対応が必要となった
- 他の現場に従事した
- 書類整理等の内業をした
- その他

(その他の内容をご記入ください)

Q16 土日完全週休2日を確保するため、現場で取り組まれたことはありますか？  
(複数回答可)

- 早出や残業により、日当り施工量を高めた
- 機械化を進め、作業効率を高めた
- 作業手順を見直して、作業効率を高めた
- 人員配置を見直して、日当り施工量を高めた
- 特になし
- その他

(その他の内容をご記入ください)

Q17 土日完全週休2日のメリットとデメリットを考えたときにその割合を5段階で評価してください。

- メリットがとても大きい
- どちらかというメリットが大きい
- どちらともいえない
- どちらかというデメリットが大きい
- デメリットがとても大きい

Q18 どのようなメリットがありましたか？

(複数回答可)

次に、選んだ項目について、右枠にメリットの大きい項目順に、順位を記入してください。

- 作業効率があがった ……………
- 会社の雰囲気よかった ……………
- 家族や友人と付き合う時間が増えた ……
- 趣味の時間が増えた ……………
- ゆっくりと体を休められた ……………
- 作業員に喜ばれた ……………
- 特になし

・その他

(その他、感じたことなどをご自由にご記入ください)

Q19 どのようなデメリットがありましたか？

(複数回答可)

次に、選んだ項目について、右枠にデメリットの大きい項目順に、順位を記入してください。

- 作業効率下がった ……………
- 仕事に行きたくても行けなかった ……………
- 有給休暇が減ってしまった ……………
- 工事における利潤が減った ……………
- 個人的な収入が減った ……………
- 土日が休みになり、支出が増えた ……………
- 近隣工事との工程調整が困難であった ……
- 下請け業者との工程調整が困難であった …
- 下請け業者の手配が困難であった ……………
- 作業員には不評だった ……………
- 特になし

・その他

(その他、感じたことなどをご自由にご記入ください)

Q20 土日完全週休2日の取組に対して、現場周辺の反応にはどのようなものがありましたか？

(複数回答可)

- 休日に工事が無いことが、現場周辺住民に好評であった
- 工期が長引き、現場周辺住民に不評であった
- 反応はなかった
- その他

(その他の内容をご記入ください)

Q21 土日完全週休2日を確保することによって、若手技術者の入職者数はどうなるとお考えですか？

- とても増える
- 増える
- 変わらない
- 減る
- とても減る

Q22 建設現場における、土日完全週休2日の取得に向けた取り組みについて、貴方のお考えをお聞かせください。(複数回答可)

- 官民一体となって積極的に取り組むべきである
- 工事の施工規模、工事の種類、施工場所等に応じて取り組むべきで
- まずは、土日の2日に限らない完全週休2日制に取り組むのが望ましい
- 必要と考えるが、4週6休など段階的に休日を増やしたい
- 民に任せて、官が関与すべきでない
- 取り組む必要がない
- その他

(上記の理由をご記入ください)

Q23 今後、建設現場において土日完全週休2日の取得を普及させるためには、何が必要だと思いますか？（複数回答可）

- 適切な工期設定
- 発注者の指導
- 監督員の意識改革
- 会社の休暇・休日制度の変更
- 給料など収入面の保証
- 建設業協会等による普及活動
- その他（特に発注者が取り組む必要があると考えることについてご意見ください。他の設問の回答と重複可）

（その他の内容をご記入ください）

Q24 建設業の将来を担う若者が入職・定着しやすい職場づくりには何が必要だと思いますか？（複数回答可）

- 土日休日の推進 ※下記の「週休2日制の推進」と重複回答しないこと
- 土日に限らない週休2日制の推進 ※上記の「土日休日の推進」と重複回答しないこと
- 給料水準の向上
- 高齢化の改善、同世代の若手技術者の増加
- 女性技術者の活用
- 業界のイメージ向上
- 労働時間の改善、残業時間の削減
- 下請企業、技能労働者の所得確保
- その他

（その他の内容をご記入ください）

《ここからの質問については、元請業者の主任（監理）技術者のみ回答をお願いします。》

Q25 土日完全週休2日を確保するうえで、今の工期設定についてどう思われますか？

- 十分な工期設定であった
- ちょうどよかった
- 短かった →Q26へ

Q26 不足日数はどのくらいですか？

不足日数  日

また、原因をお聞かせください。

(原因をご記入ください)

Q27 土日完全週休2日の確保に取り組む場合、どのような工事が適していると思いますか？

(複数回答可)

施工規模

- 1000万以下
- 1000~2000万
- 2000~3000万
- 3000~5000万
- 5000~7000万
- 7000万以上

工事の種類

- 河川工事
- 河川・道路構造物工事
- 海岸工事
- 道路改良工事
- 鋼橋架設工事
- PC橋工事
- 橋梁保全工事
- 舗装工事
- トンネル工事
- 砂防・地すべり等工事
- 道路維持工事
- 河川維持工事
- 下水道工事
- 公園工事
- 電線共同溝工事
- 建築・営繕工事
- その他 ( )

施工場所

- 市街地
- 中山間地域
- 上記以外

Q28 土日完全週休2日の取得について、工事成績評定での評価対象とした方がいいですか？

よいと思う → Q29へ

よいと思わない

(上記の理由をご記入ください)

Q29 100点の満点に対して、何点ぐらいを評価するのが適切だと思われませんか？

点

(その他の内容がございましたらご記入ください)

Q30 土日完全週休2日の取得について、総合評価での加点対象とした方がよいと思いますか？

よいと思う →Q31へ

よいと思わない

(理由をご記入ください)

Q31 100点の満点に対して、何点ぐらいを評価するのが適切だと思われませんか？

点

Q32 今回の現場での若手技術者の状況についてお聞かせください。

とても多い

多い

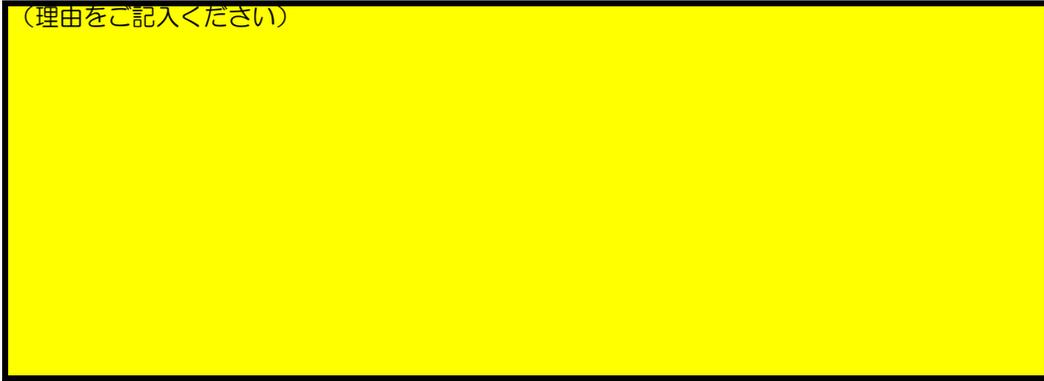
少ない

とても少ない

若手技術者がいない

Q33 その他、『土日完全週休2日制試行工事』に関するご意見、ご要望等があれば  
ご記入ください。

(理由をご記入ください)



～ご協力ありがとうございました～